

がんのリハビリテーション

～周術期から緩和ケアまで～

主な対象疾患：

消化器系の癌、造血器悪性腫瘍、脳腫瘍、前立腺がん、頭頸部癌、肺癌、婦人科癌など

がんのリハビリテーションとは：

当院はがん診療連携拠点病院として多くのがん患者様に対応しています。

がん患者のリハビリテーションは大きく 4 つの段階に分けられており、予防的、回復的、維持的および緩和的のいずれもが対象になります。

リハビリテーション科では入院中の患者様に対して、必要に応じて早期介入を図り、周術期から緩和期まで、がんそのものや、治療過程において生じた障害や、治療中・治療後の廃用症候群などに対してリハビリテーションの介入を行っております。また、ADL（日常生活動作）維持・改善を図り、QOL（生活の質）向上に向けて患者様に寄り添ったリハビリテーションを提供しております。

病棟における多職種での連携はもちろん、患者様の目指す退院後の生活や、ご家族が安心できる退院を目指せるよう、地域との連携も図りながらリハビリを行っています。

